

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立開成小学校		C : やや不十分である D : 不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・特別支援学級担任と通常学級担任が連携を密にし、全校的に個に応じた指導や支援の充実した。また、授業のUD化やICT機器等の活用で、意欲的に学習を行う児童が増えている。個別の支援を必要とする児童は増加傾向にあり、今後も授業相互参観や校内研修を取り入れ職員の指導力向上に努め、個別最適な指導の充実を目指す。 ・登校60分前起床やスポーツフェスタの取り組みにより児童の生活習慣改善への意識向上と、児童の運動機会の増加につながった。令和7年度は家庭との連携を更に充実させ、児童の健康的な生活習慣の確立につなげたい。 ・職員の働き方改革につながる業務改善が不十分、行事内容の見直しを行い準備や練習の時間短縮や、職員の負担軽減を図りたい。		
2 学校教育目標	豊かな人間性をそなえ 自ら学ぶたくましい子どもの育成 ～やさしく かしく たくましく～		
3 本年度の重点目標	①生徒指導の徹底と学級経営の充実 ②特別支援教育の充実と学力向上の推進 ③心身の健康維持と自己有用感の醸成		

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○校内研究の取り組みを柱とした主体的に学び、考えを深める授業づくり	○単元テスト等で、「思考・判断・表現」での80%以上をめざす。 ○共通実践を意識した取組を行っている教師95%以上をめざす。	・児童が課題を見い出して考え、見通しをもって学習することができるように単元計画表を作成する。 ・見通しをもって粘り強く取り組み、次の学習につながる自己の振り返りを工夫する。	・		・		・	学び部 研究主任 学力向上対策コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケート「心の教育」に関する項目で、肯定的に答える児童85%以上をめざす。	・人権教室・人権学習会(平和・人権)・道徳等の授業を行い人権尊重の感性を育てる。 ・参観日やフリー参観日においてふれあい道徳の授業や人権学習等を公開する。(地域連携)	・		・		・	こころ部 道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「開成小いじめ0宣言を守って生活している」に肯定的回答の児童80%以上。「いじめへの組織的対応を適切にしている」に肯定的回答の教師90%以上をめざす。	・「O月のわたし」や「ほっとタイム」の活用。「気になる子」の情報共有によるいじめの未然防止や早期対応・再発防止に努める。 ・管理職を交えた複数の職員による事実確認や組織的対応をする。	・		・		・	こころ部 教育相談担当者 生徒指導主事 主幹教諭	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・「ほかほかの木」と帰りの会等でのいいところ見付けで、直接褒める機会を設ける。 ・キャリアパスポートの活用と見通しをもった活動により自己の成長を振り返らせる。	・		・		・	こころ部 キャリア教育担当 主幹教諭	
	◎志をもち、主体的な考えをもって、前向きに学校生活を送るための支援の充実	◎Q-Uテストの学校生活満足群50%以上(全国平均約43%)。 ◎保護者意識調査「夢、希望をもつ教育の推進」への肯定的回答80%以上。	・定期的個人面談を行うとともに、学校行事や学校のきまりを子どもが主体的に作っていく過程を大切にして、発達支持の生徒指導の充実を図る。	・		・		・	こころ部 キャリア教育担当 主幹教諭	
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上 ②22時までには寝る児童が75%以上 ③「健康に良い食事をしている」児童80%以上	①体育科の体づくり運動等の中で多様な遊びやスポーツチャレンジを紹介し、教師も子どもと一緒に外で遊ぶことを推奨し、運動習慣の向上を目指す。 ②1年に2回生活チェック週間を設けて、自分でチェックし、保護者・担任も確認することで、生活を振り返り改善をめざす。児童の健康に関する情報を積極的に発信する。 ③給食時間の電子黒板の活用や献立を通した食に関する指導を行う。	・		・		・	すこやか部 体育主任 養護教諭 栄養教諭 保健主事 食育担当	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員一人あたりの年次休暇の取得14日以上。	・週1回、職員各自が定時退勤日を設定する。 ・校時間の見直しや行事等の教育課程を精選し、職員が事務処理を行う時間を確保する。 ・長期休暇中の研修会等の日程の見直しを行い、年次休暇を取得しやすい環境作りに取り組む。	・		・		・	教頭	
	○ICT利活用、行事、会議の精選	○職員会議や研修等にかかる上限時間を80分とし、遵守する。 ○各部から1つ以上の改善案を提言する。	・会議資料のペーパーレス化、ischoolの活用を推進し、提案の効率化を図る。 ・3部会で削減の視点で話し合い、「例年通り」を改善する。	・		・		・	教務主任 情報化推進リーダー	
●特別支援教育の充実	○子どもの個性や特性を大切に、きめ細やかで効果的な学習指導を充実させる。	○「意欲的に学習した」の自己評価75%。1単位時間や単元ごとの振り返りで児童の実態を担当が確認。 ○全ての学級担任が特別支援的な手立てを学級経営に取り入れている。	・主に国語科と算数科において、個々の児童の特性に合わせて支援する。特別支援学級支援員・生活指導員やICT等も活用する。 ・授業の相互参観、特別支援教育に関する研修を充実させる。	・		・		・	まなび部 主幹教諭 特別支援コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○生徒指導の徹底と学級経営の充実	○凡事徹底による規律ある集団と豊かな人間関係を育む教育の推進	○「開成スタイル」を実行していると答える児童75%以上をめざす。	・「開成スタイル」を全職員が共通理解し、実態に合わせて段階を決め、評価をする。 ・学校全体、個人の達成度を自己評価し、それを視覚的に捉えられるようにする。	・		・		・	こころ部 生徒指導主事 主幹教諭	
○地域連携教育の発展	○地域のひと・もの・ことを取り込んだ教育課程とふるさとのよさを実感する教育の推進	○学校評価アンケートで、「学校や地域のよさが分かる」と答える児童75%以上をめざす。	・学級通信、学校便り、メール配信、HP掲載により積極的情報発信を推進する。 ・地域との連携により学習指導要領に沿った教育活動を推進する。	・		・		・	主幹教諭	
●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・									